

## 2017 年度事業経過報告

### ◎総括報告

公益法人として 6 年目を迎えた本会は、『国民に信頼され尊敬される組織の実現』を目指し、公益事業を中心に各種事業を行った。

本会の中長期総合計画“日技新発展『7』プラン”については、『7』プラン推進委員会のもと、年度事業との整合性を図りながら順次実施と点検を行った。

厚生労働省「平成 29 年度歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業」の実施団体となり、同事業研修会を全国 3 ヶ所で実施した。静岡県、広島県では、歯科医院内への歯科補てつ物等の製作過程等に関するポスター掲示、リーフレットの配布、患者を対象としたアンケートの実施を行った。

第 3 回を迎えた歯科技工士国家試験は、北海道、宮城県、東京都、大阪府及び福岡県の全国 5 ヶ所を会場に実施され、本会はこれに協力した。

教育研修分野では、日技生涯研修事業、日技指定研修事業・顎口腔機能学研修を継続開催した。また、厚生労働省委託事業・感染症予防歯科技工士講習会を継続開催した。

国際振興分野では、公益財団法人国際医療技術交流財団（以下、「JIMTEF」と表記。）の協力もとベトナム社会主義共和国、中華民国との交流を継続した。

公益財団法人国際協力 NGO ジョイセフ活動の支援活動を地域組織と会員の協力の下に行い、開発途上国の女性、子供たちへの支援活動に寄与した。

広報企画分野では、歯科技工に関する普及啓発事業として、2017 年入れ歯感謝デー市民公開講座を江東区文化センター(東京都江東区)の 3 階レクホールにおいて、「超高齢社会の“食”と“笑い”を支える歯科医療」をテーマに開催した。

公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本歯科衛生士会との間で協議を継続した。

災害保健医療、災害保健歯科医療対応のための各種会合に参加した。また、大規模災害発生時の災害医療に関する知識と技術の修得を目的とした JIMTEF・災害医療研修ベーシックコース、同アドバンスコースの開催に協力した。

首都直下地震等大規模災害対策の東京都帰宅困難者対策条例に則り、備蓄品の点検、本部事業継続・事務局機能維持等のための対策を検討した。

効率的な資金運用及び適正な運用管理を行うため、「資金運用規程」(案)を作成した。

組織拡大のため、新卒者に対する入会促進ための支援対策事業を継続した。

本会創立 60 周年記念誌「日技会史-継ぐ 60 年!笑顔の未来 歯科技工士の貢献」を発行した。

地域組織との情報の共有を図るため、全国会長懇談会を開催した。

以上、2017 年度の総括報告とする。